



滋賀県議会議員

Okumura Yoshimasa Kensei Report

奥村よしまさ 県政レポート

Vol.32
平成27年3月発行



地方創生・滋賀の魅力を全国に発信!

2月定例会議では、「地方創生ならびに本県の魅力発信」について一般質問を行いました。

滋賀の魅力を全国に発信することは地方創生に向けた本県での重要な取り組みのひとつです。本県は京都という世界的にも有名な観光地に隣接しながら、その知名度は全国40位前後と低迷しています。京都を訪れる国内外の旅行客をもっと滋賀県に誘客できれば、まちが元気になり、暮らしや福祉の充実につながっていきます。

私は今回の質問で、滋賀のブランド向上の一環として滋賀県という県名を「近江県」にしてはどうかとの提案もしました。このことは、滋賀の話題としては全国ネットでこれまでにない反響を呼び、各種報道でも取り上げられました(下記参照)。これを機に滋賀が全国的な注目を集めたことは大変有意義であったと思っています。県名変更の提案は、あくまでも、滋賀の魅力発信についての議論が深まるきっかけになればという思いからです。これからの地方創生を、まず滋賀県からとの意気込みで積極的に取り組んでまいります。

■テレビ朝日…グッドモーニング/モーニングバード ■フジテレビ…めざましテレビ ■インターネット…Yahoo!ニュースのトップニュースとして

地方創生ならびに本県の魅力発信について

滋賀県としてもあぐらをかいているわけにはいきません!

人口減少、高齢化に加え、全国は地方創生に躍起になっており、都道府県間の人口争奪戦が始まっています。地方創生に対して、どのような方針で取り組まれようとしているのか伺います。

<知事の回答>

人口減少対策には、子どもを安心して生み育てられる環境を整備するなど、若い世代の出産・子育ての希望を実現する取り組みが必要です。

また、本県魅力を発信するなど、「滋賀に訪れたい・住みたい・働きたい」と思ってもらえる取組も重要であると考えております。

現在、「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり推進本部」で議論を進めていますが、今後は県民の皆様や、関係団体などと議論を深め、市町とも連携し、対話・共感・協働、この過程を大切に、人口ビジョン・総合戦略を策定し、人口減少社会への対応をしっかりと行っていきます。

本県のブランド向上につながる取り組みが必要です!

滋賀県は、住んでみると本当に良い県だと実感していますが、県外の人にその良さがあまり伝わっていないと思います。それはつまり、本県のブランド力が低いということになりますが、それについてどのように分析されているか伺います。

<総合政策部長の回答>

日経リサーチ、博報堂、ブランド総合研究所などによる地域ブランド力のランキングで、本県は全国40位前後と低位にとどまっていますが、県民自身による評価では、24位となっています。このことから全国の人には滋賀の魅力が十分浸透していないことがうかがわれます。一方、「日本でいちばんいい県 都道府県別幸福度ランキング」では、5位にランクされています。

以上のことから、主に主観的な見方による順位は低いものの、統計データによるランキングは滋賀の優位性を示しており、ポテンシャルは極めて高いと考えられます。

このように高いポテンシャルを持ちながら、滋賀の持つ魅力が全国的に知られていない現状は非常にもったいなく残念なことから、「滋賀・びわ湖ブランド」を全国にしっかり発信し、ブランド力を向上させ、県民の誇りづくりや地域の活性化につなげていく必要があると考えています。

ブランド名は、イメージアップにつながります。「近江」は歴史ある名前、戦国時代では「近江」は舞台の中心でした。また、近江商人や近江牛、近江米など、県職員が思っている以上に県外での知名度があると考えますが、知事の所見を伺います。

<知事の回答>

私もそう思います。「近江」という呼称は、奈良時代に編纂された「日本書紀」にも記載のある由緒ある国名であり、ご指摘いただいたように「近江牛」、「近江米」、また「近江茶」、「近江商人」という呼称もそうでしょう。佐々木高綱に代表される「近江源氏」、さらには「近江八景」、「近江猿楽」などですね、非常に「近江」を冠したブランドは広く知られていると、私も思います。特に、戦国をはじめとした歴史の舞台としての「近江」は全国的に人気が高く、これはまた全国区のブランドの一つだというふうに思っています。

まずは県民も一緒になって皆で議論することが大切!

平成21年の一般質問で「近江県」への県名変更を議論してはどうかとの提案が前知事にありました。そのときの答弁書も拝見した上で、県民の皆さんが納得されるならば、滋賀県を近江県に変えるのも1つの方法だと考えます。県名変更の可能性について前向きな答弁をお願いしたいところですが如何ですか。

<知事の回答>

平成21年度のアンケート結果(回答者153名、回収率78.5%)を見ると、72.6%の方が「滋賀という県名に愛着がある」、78.4%の方が「今のままが良い」と回答しています。この結果から、長い間、愛着を持たれてきた「滋賀」という県名は非常に重いものだと考えています。ただ、県名について様々な視点から議論を深めることは、私たち県民のアイデンティティを見つめ直す良いきっかけにもなり、対外的な発信にもつながっていくと考えています。

そういう意味で、県議会議員の皆様を含め、県民の皆様幅広い御意見を伺いながら議論して参りたいと考えています。

滋賀・草津から地方創生を推進!!



石破地方創生担当大臣と

県名を変更することが私の目的ではありません。現状を抜本的に議論をして、滋賀県魅力を全国そして世界に伝えていく手段を確立する事が重要です。地方創生の取組を滋賀から、そして草津から推進してまいります。



滋賀県議会議員
議会運営委員会 委員長
文教・警察常任委員会 委員
広域行政対策特別委員会 委員

自民党滋賀支部連合会
政調副会長
第三選挙区 政調会長

事務所 〒525-0041 草津市青地町962-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588

自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL・FAX:077-562-4841

奥村 芳正

活動日記毎日更新中! <http://www.genki-shiga.jp> facebookもチェック! → 奥村芳正

携帯でも発信しています! →



<平成27年度予算案が成立>

依然として厳しい財政状況、 行政も身を削る不断の行政改革を。

税収については、法人二税が企業収益全体としては慎重さが見られるものの、税制改正による法人事業税の税率引上げなどにより+7.9%、地方消費税は、税率引上げ分の影響が平年度化することにより+70.9%を見込んでいます。

歳出では、前回の滋賀県議会議員選挙の自民党公約により、**議員定数の削減、さらに議員報酬も4年前より2割削減を実現しています。**

県の財政の健全化には、できる限りムダを省き、効率的・効果的な予算となるよう、**行政も身を削る不断の行政改革が必要です。**そして議会はしっかりとそのチェック機能を果たしていかなければなりません。

予算規模

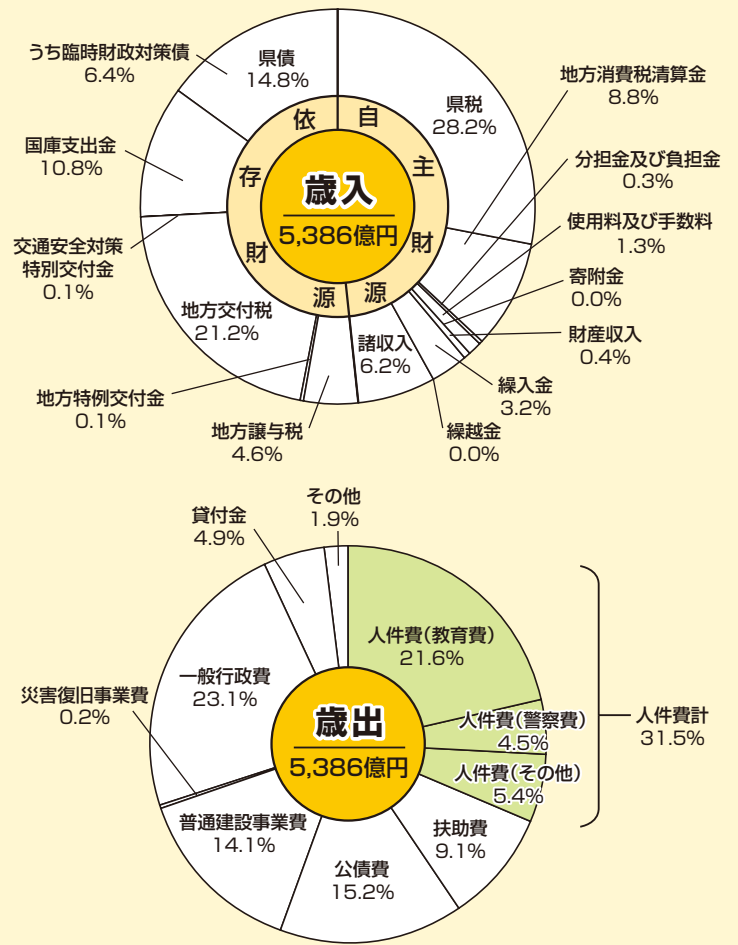
※企業会計は収益的支出および資本的支出の合計を示しています。

一般会計 5,386億円 (対前年度当初比 233億円増 +4.5%)

特別会計 2,157億円 (対前年度当初比 206億円増 +10.5%)

企業会計 393億円 (対前年度当初比 11億円増 +2.9%)

平成27年度一般会計当初予算



二期目(4年間)の主な取組み

この4年間、「皆様の声」を県議会で発言して参りました。県民皆様の思いがさらに県政に届くよう、今後も取り組んで参ります。これからも皆様からの行政に関するご意見をぜひお聞かせ下さい。

- 節電対策と高輝度畜光について
- 環境こだわり農業について
- 市町連携による県政運営について
- 都市鉱山リサイクルの促進について
- 災害廃棄物の広域処理について
- 個人情報保護と適切な扱いについて
- 県内の看護師確保定着対策について
- 重症心身障害者入所支援事業について
- 自殺防止対策について
- 滋賀の観光政策について
- 県庁周辺地域の将来と危機管理センター建設について
- 県民の声を聴く取り組みについて
- 雇用の促進の支援について
- 大津・湖南地域の交通ビジョンのあり方検討状況について
- 滋賀の認知度アップと競艇事業の取り組みについて
- 県民政策コメントと滋賀県流域治水の推進に関する条例案について
- 高島市における鴨川河川敷への木材チップ放置事案について
- 新・滋賀県観光振興指針のまとめと今後の取り組みについて
- 土木関係の公共事業の執行と今後の課題について
- 流域下水道溢水被害の検証と今後の取り組みについて
- 地域の防犯力の向上について
- 県民に開かれた県政について
- 財源確保の取り組みについて
- 食の安全について
- 26年産米の状況と今後の農政について
- 地方創生ならびに本県の魅力発信について



政調会長(H24年度)政調副会長(H26年度)として県内全市町で要望の聞き取り調査を実施しました。公共工事の予算を工事看板に掲載して一般公開することを提言し平成26年12月より実現しました。

国・県・市が連携し、元気な日本、滋賀、草津へ!!

女性活躍担当大臣
参議院議員
比例代表(全国区)



有村 治子
ありむら はるこ

奥村芳正県議員は、ふるさと・滋賀と、日本のあるべき国家像を語り合える、心からの同志です。次代を担う子供達の教育、安倍内閣の成長戦略である地方創生と女性の活躍、良識派の奥村議員と共に力強く進めて参ります。

草津市長



橋川 渉
はしかわ わたる

奥村芳正県議員におかれましては、豊富な経験と行動力で山手幹線の早期実現をはじめ、多方面にわたり草津市発展のためご尽力いただいております。これからも、湖国滋賀そして地元草津の元氣創造にむけ、さらなるご活躍を御期待申し上げます。

衆議院議員
(滋賀県第三選挙区)



武村 展英
たけむら のぶひで

これからも、奥村芳正県議員との固い信頼関係の中で、地方創生、広域的視点からの道路整備、農業の再生、琵琶湖の生態系回復の取り組みを進めてまいります。県議会の新しいリーダーとしての奥村議員の手腕に心から大きな期待をしています!

参議院議員
(滋賀県選出)



二之湯 武史
にのゆ たけし

青年団活動で培われた地域との繋がり、人との絆、正に奥村芳正県議員の政治の原点でありましょう。県議会の議会運営委員長としての重責を担いながら、地元草津の振興と県政発展に、更なるご活躍をご期待申し上げます。



元気な草津・滋賀のため、共に力を合わせ頑張ります。